

現代経済と企業活動Ⅱ（地域社会と日本経済）

（1）科目の紹介

基本情報	平成 25 年度・教養教育・前期		曜日・校時	金 5 限	
モジュール名	現代経済と企業活動		科目名	地域社会と日本経済	
教員名（所属）	柴多 一雄（経済学部）			教室	A-24
選択者数	23名	2年生の所属学部	教育学部	薬学部	水産学部
再履修数	12名 特別聴講生 4名		(14名)	(6名)	(3名)
授業のねらい： 歴史的な観点から現代の社会や経済に対する理解を深める。					
アクティブラーニングに向けて工夫した点： 学生が負担に感じないように、積極的に参加できるように心掛けた。 質問することの重要性を強調した。					

（2）学修の評価

到達目標	日本の地域社会の発展や経済の歩みを論理的に考察できる
成績評価の方法	予復習課題 30% 授業参加 20% 試験 20% レポート 30% →予復習課題 50% 授業参加 20% レポート 30%

（3）授業の進行

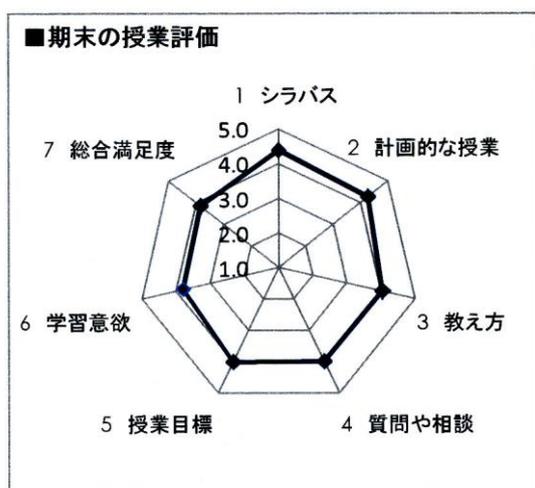
概要： 日本の社会・経済が持つ独自性や強み、日本経済の歩みを振り返り、日本や地域の固有の経済問題を考察する。具体的には、長崎や福岡といった地域の社会経済の発展の歴史を、地域をとりまく世界や日本の歴史の中に位置付けながら、地域の発展の要因や今後の都市のあり方について考察する。		
回	学習内容	授業方法（講義、グループワーク、プレゼンなど）
1	はじめに	シラバスを配付。変更点を説明。 授業方法などについて説明。 7回目以降、全員が報告することを確認。
2	中世の国際貿易都市博多	講義。資料（講義概要、中世博多の地図、現在の福岡市中心部の地図）を配付。

3	大航海時代の長崎	講義。資料（講義概要、現在の長崎県の地図、現在の長崎市中心部の地図）を配付。
4	城下町福岡	講義。資料（講義概要、江戸時代の福岡・博多の地図）を配付。 7回以降の報告のための資料を配付し、説明。 次回、報告担当決定を予告。
5	貿易都市長崎	講義。資料（講義概要、江戸時代の長崎の地図）を配付。 報告担当決定。グループ内で分担など話し合い。
6	近代都市長崎 →中間のまとめ	2回から5回までの講義のまとめ。 次回以降の進め方を確認。 グループ内で分担など話し合い。
7	近代の福岡 →近代都市長崎	学生の報告（4名）。質問。
8	中間のまとめ →近代の福岡	前回の報告に対する質問への回答（4名）。 概要説明。報告・質問・回答に対するコメント。 学生の報告（5名）。質問。
9	戦争と福岡	前回の報告に対する質問への回答（4名、1名欠席）。 概要説明。報告・質問・回答に対するコメント。 学生の報告（5名）。質問。
10	戦争と長崎	前回の報告に対する質問への回答（4名、1名欠席）。 概要説明。報告・質問・回答に対するコメント。 戦前と戦後の人口推移のグラフ配付。 レポート（長崎と福岡）について説明。 学生の報告（4名）。質問。
11	戦後長崎の復興	前回の報告に対する質問への回答（2名、2名欠席）。 概要説明。報告・質問・回答に対するコメント。 学生の報告（2名、2名欠席）。質問。
12	戦後福岡の発展	前回の報告に対する質問への回答（2名）。 概要説明。報告・質問・回答に対するコメント。 学生の報告（3名、2名欠席）。質問。
13	現在の長崎市	前回の報告に対する質問への回答（2名、1名欠席）。 概要説明。報告・質問・回答に対するコメント。 学生の報告（3名、1名欠席）。質問。

14	現在の福岡市	前回の報告に対する質問への回答（3名）。 概要説明。報告・質問・回答に対するコメント。 学生の報告（5名）。質問。
15	まとめ	前回の報告に対する質問への回答（5名）。 概要説明。報告・質問・回答に対するコメント。 全体のまとめ。 レポートについて説明。

(4) 授業の成果

全体の総括	地域社会や経済、歴史について、学生が主体的に調べ、関心を持つようになるという目標は、ある程度達成できたと思う。
今後の改善点	



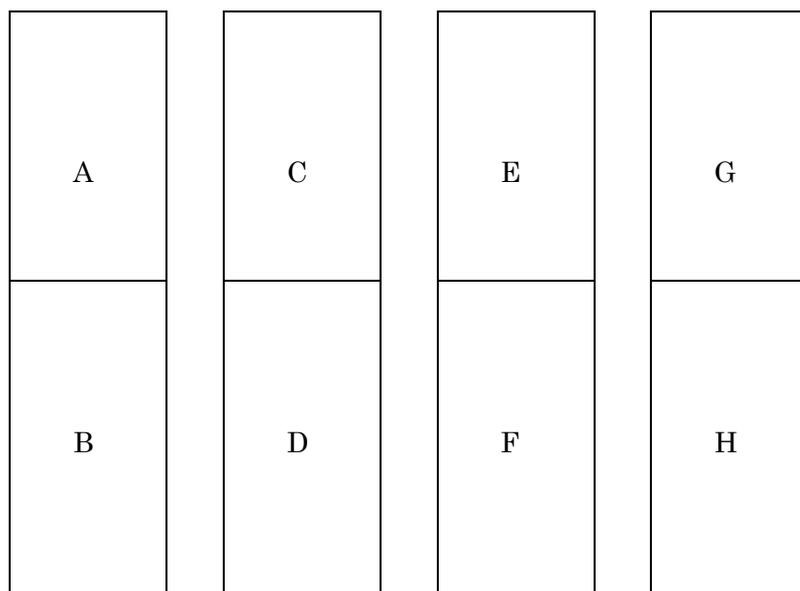
(5) アクティブ・ラーニングの充実に向けた提案

ポイント提案	
参考になる資料	

(別添資料)

A	5/24	第7回	近代都市長崎	1853年～1925年
B	5/31	第8回	近代の福岡	1853年～1925年
C	6/07	第9回	戦争と福岡	1926年～1945年
D	6/14	第10回	戦争と長崎	1926年～1945年
E	6/21	第11回	戦後長崎の復興	1945年～1988年
F	6/28	第12回	戦後福岡の発展	1945年～1988年
G	7/05	第13回	現在の長崎市	1988年～2013年
H	7/12	第14回	現在の福岡市	1988年～2013年

教卓



1. 担当の都市、時代について、調べ報告する。
2. ネットだけでなく、図書・雑誌なども調べる。
3. 報告時間は1人10分～15分（最低でも10分）。
4. レジユメ（2～3枚、1枚でも可）を作成する。
5. レジユメは、人数分（40部）コピーをしてくる。
6. レジユメには、必ず出典を書く。
7. 準備の時間を十分にとる（最低でも3時間は必要）。
8. 報告はどれくらいかかるか、練習して時間を確認する。
9. できるだけ報告内容が重ならないようにする。

質問票

〇〇〇〇さんへの質問

学生番号

名前
